

テーマ

地域連携による新たな事業展開

坂本龍馬が食べ損ねた「シャモ鍋」で地域を元気に！

企業組合ごめんシャモ研究会

きっかけは「地域愛」。まちを元気にしたい！という思いで産学官の取組みの輪を広げながら、南国市といえばシャモといわれる地域ブランド化と「地産消費」の推進を目指す。

背景と目的

「地域を元気にしたい！」との思いを持った南国市商工会の有志数名が集まり、「歴史のまち」と「野菜の生産地」の二つを組み合わせてまちを元気に、そして子供たちに誇れるものを作れないか、と考えた。そんな折、坂本龍馬の先祖の墓所がある才谷地区のお祭りで龍馬を偲ぶ料理としてシャモ鍋を振舞っていたという話を聞く機会があり、坂本龍馬が好物のシャモ鍋を食べようとしていたところ、その夜暗殺され食べることができなかつたという歴史的ドラマ性と、鍋料理なら野菜をたくさん使うこ

とから地域が一体となり「シャモ鍋」で街を元気にしよう！という目標を掲げ、有志メンバーで「ごめんシャモ研究会」（シャモ研）を立ち上げた。

事業・活動の内容

「ごめんケンカシャモ」を使った「シャモ鍋」を売り出すよう、様々なイベント等への出張活動を行っている。平成22年、第6回全国鍋合戦に参加し優勝することができた。また、地元でシャモ鍋を食べられるように南国市内の飲食店に協力いただきシャモ鍋を提供する取組み「ごめんシャモ鍋社中」の結成や県内外のイベント等へ積極的に参加してPRすることで、徐々に知名度の向上を図ることができた。そのような活動が認められて高知県産業振興計画の地域アクシヨンプランの一つに位置付けられ、行政や支援機関の方々の協力を得られるようになったため、こ

れまでの任意組織を発展させ、さらなる外商活動に取り組みにあたって、企業組合へ法人化することにした。

成果・効果

法人化した後は、産学官の連携を一層強化しつつ、スタッフも拡充し販路拡大に注力、商談会やイベントに参加し、積極的にPRに努めてきた。平成25年は新商品「シャモのすき焼き」でさまざまなコンテストに挑戦。「全国地域活性化からいち2013」最優秀グランプリ、「地場もん国民大賞」銀賞、「土佐の食1グランプリ」優勝と、栄えある賞を受賞した。

また、平成25年度には、経済産業省が選出した「がんばる中小企業・小規模事業者300社」に選ばれ、士気が高まる「シャモ研」。親鳥のミンチなど新素材の開発を進めると共に、シャモ鍋社中のメンバー増強を軸として市外にも積



▲ごめんケンカシャモ



▲シャモ鍋セット

極的に販路を拡大しており、今後も「ますますがんばる企業」として期待されている。

企業組合ごめんシャモ研究会

住所：〒783-0011
高知県南国市後免町2-3-13
設立：平成24年4月
出資金：2,000千円
電話：088-855-7418
URL：<http://www.gomensyamo.com>
組合員：10人
組合専従者：12人
(うち組合員10人、専従職員2人)